

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和4年9月16日(2022.9.16)

【公開番号】特開2021-43389(P2021-43389A)

【公開日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2021-014

【出願番号】特願2019-166767(P2019-166767)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/13(2006.01)

G 0 3 G 9/135(2006.01)

10

【F I】

G 0 3 G 9/13

G 0 3 G 9/135

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月7日(2022.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結着樹脂を含有するトナー、
キャリア液、及び
塩基性トナー分散剤

を含有する液体现像剤であって、

該結着樹脂が、ポリ乳酸を含み、

該ポリ乳酸の酸価が、5 mg KOH / g 以上であり、

該結着樹脂中のポリ乳酸の含有量が、50質量%以上である、

30

ことを特徴とする液体现像剤。

【請求項2】

前記キャリア液が、ノルマルパラフィン系溶媒及びイソパラフィン系溶媒からなる群より選択される少なくとも一種である、請求項1に記載の液体现像剤。

【請求項3】

前記ポリ乳酸の末端基が、無水トリメリット酸でキャッピングされている、請求項1又は2に記載の液体现像剤。

【請求項4】

前記結着樹脂の結晶化度が、35%以下である、請求項1～3のいずれか1項に記載の液体现像剤。

40

【請求項5】

前記塩基性トナー分散剤が、アミノ基含有トナー分散剤である、請求項1～4のいずれか1項に記載の液体现像剤。

【請求項6】

前記ポリ乳酸に含まれる酸基の総数が、前記アミノ基含有トナー分散剤に含まれるアミノ基の総数よりも多い、請求項5に記載の液体现像剤。

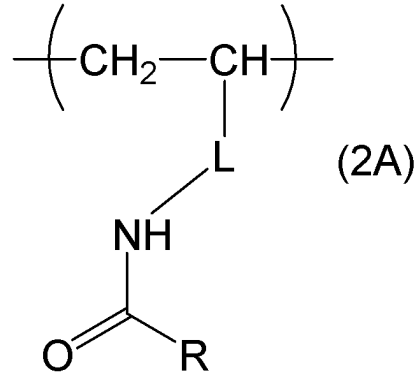
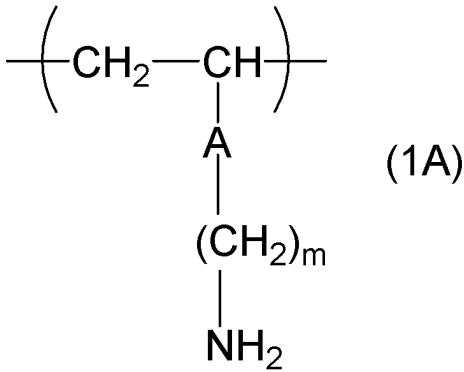
【請求項7】

前記アミノ基含有トナー分散剤のアミン価が、20 mg KOH / g 以上である、請求項5又は6に記載の液体现像剤。

50

【請求項 8】

前記アミノ基含有トナー分散剤は、下記式(1A)で示される構造及び下記式(2A)で示される構造をともに含有する高分子を含有する、請求項5～7のいずれか1項に記載の液体现像剤。



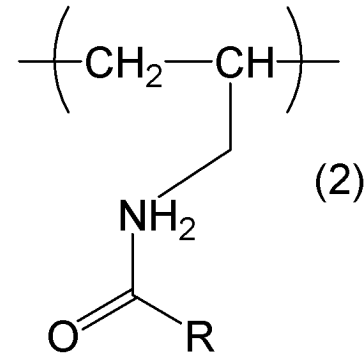
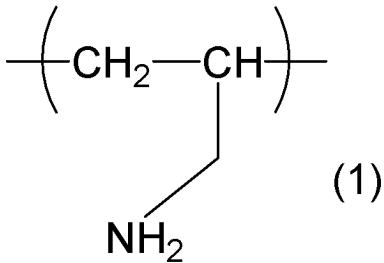
10

(式(1A)中、Aは、単結合、炭素数1～6のアルキレン基、又はフェニレンを表し、mは、0～3の整数を表す。式(2A)中、Lは、炭素数1～6のアルキレン基、炭素数1～6のアルケニレン基、又は炭素数6～10のアリーレン基を表し、Rは、炭素数6～30のアルキル基を表す。)

20

【請求項 9】

前記アミノ基含有トナー分散剤が、下記式(1)で示される構造及び下記式(2)で示される構造からなる高分子である、請求項5～8のいずれか1項に記載の液体现像剤。



30

(式(2)中、Rは、炭素数6～30のアルキル基を表す。)

【請求項 10】

前記結着樹脂が、ポリエステル樹脂を含む、請求項1～9のいずれか1項に記載の液体现像剤。

【請求項 11】

前記結着樹脂中の前記ポリエステル樹脂の含有量が、1質量%以上50質量%以下である、請求項10に記載の液体现像剤。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

結着樹脂を含有するトナー、
キャリア液、及び
塩基性トナー分散剤

50

を含有する液体现像剤であって、
該結着樹脂が、ポリ乳酸を含み、
該ポリ乳酸の酸価が、 $5 \text{ mg KOH} / \text{g}$ 以上であり、
該結着樹脂中のポリ乳酸の含有量が、 50 質量\% 以上である、
ことを特徴とする液体现像剤。

10

20

30

40

50